中間評価シート【継続】

　　提出日：令和　　　年　　　月　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 内　　　　　　　容 |
| １　事業主体名 | 　 |
| ２　取組事業名 | 地域資源　里山防災　課題解決　体験活動　その他 |
| ３　計画期間 | 令和　　　年度　　～　　令和　　　年度 |
| ４　取組成果* 具体的に記載すること
 | 【取組期間】　令和　　年度～令和　　年度【取組内容】　○計画　　　　　○実績（見込み含む）　　　　【取組成果】　・　・　・ |

中間評価シート【継続】

**記載例**

※単年計画でも前年度に実績がある場合は作成

　　提出日：令和　６　年　２　月　13　日

|  |  |
| --- | --- |
| 項　　目 | 内　　　　　　　容 |
| １　事業主体名 | 　○○○○実行委員会 |
| ２　取組事業名 | 地域資源　里山防災　課題解決　体験活動　その他 |
| ３　計画期間 | 令和　５　年度　　～　　令和　７　年度 |
| ４　取組成果* 具体的に記載すること
 | 【取組期間】　令和５年度【取組内容】　○計画　　森林整備　3.0ha　遊歩道整備　200ｍ体験活動　2回　○実績（見込み含む）　　森林整備　2.0ha　遊歩道整備　300ｍ体験活動　1回【取組成果】　・危険な箇所を優先したため、森林整備面積が減った（減る見込み）。・事業費が減少したことにより、森林整備面積が減った（減る見込み）。　・バッファゾーン整備の結果、イノシシやシカの被害が減った。　・バッファゾーン整備を行ったが、イノシシやシカの被害に変化はなかった。　・遊歩道整備の事業費が抑えられたため、整備延長が計画より増えた（増える見込み）。　・遊歩道の損傷が想定より広がっていたため、散策する際の安全のため、整備延長を増やした。　・体験活動の内容決定に時間がかかり回数が減ったが、地域住民からボランティアの協力が得られた。　・自治会報誌で取組を報告し、活動参加を呼びかけた。 |